

TAMA IRON COBRA / SPEED COBRA HI-HAT STAND

取扱い説明書

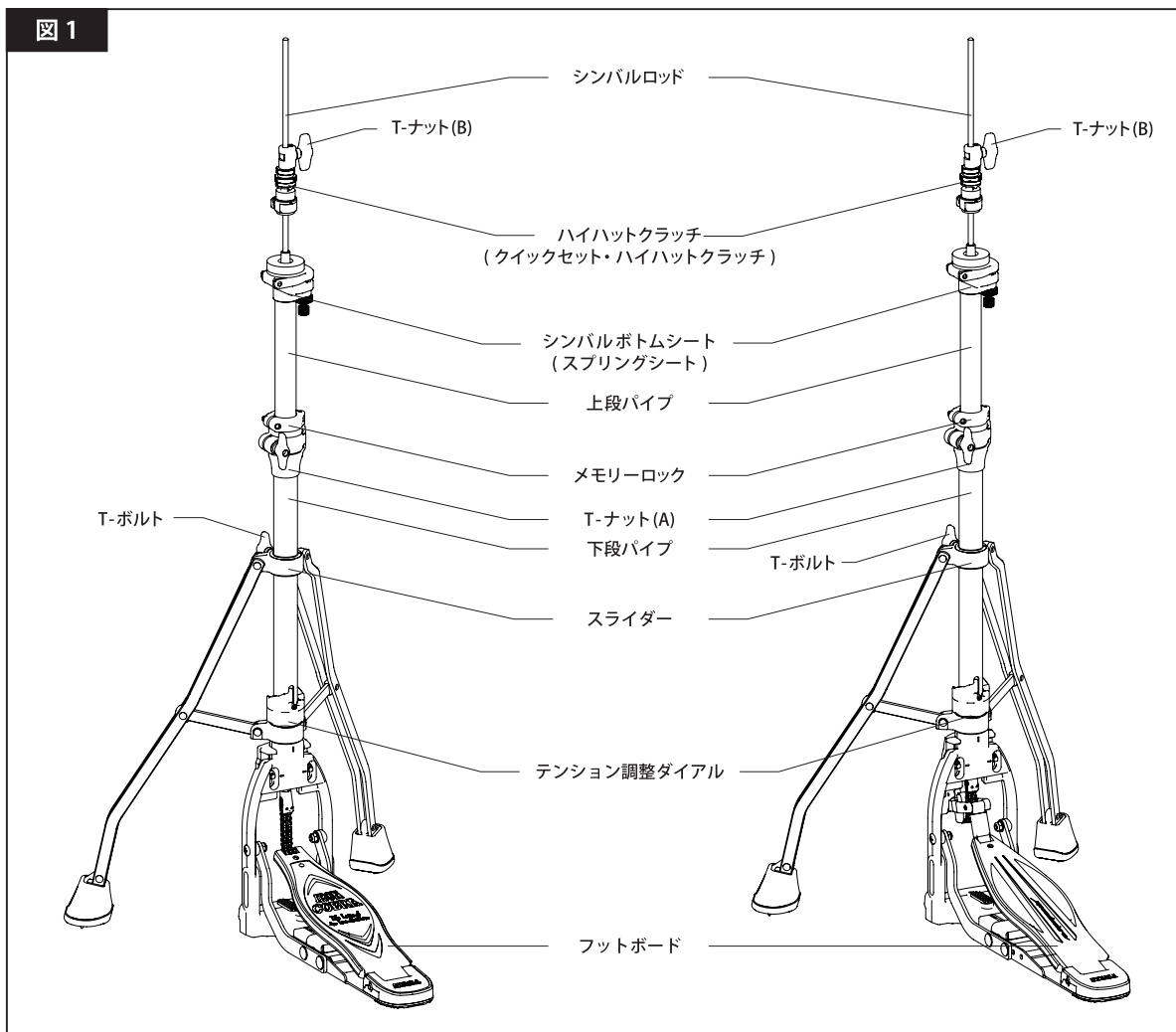
ご使用になる前に、必ず本説明書をお読みください。

この度は TAMA ハイハットスタンドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品の機能を十分に発揮し、安全にご使用頂く為に、組み立て前に必ず本説明書をお読みください。また、本書は大切に保管してください。

組み立て方法

1. ハイハットクラッチのT-ナット(B)を緩めハイハットクラッチをシンバルロッドから外し、上段パイプ、クラッチ、シンバルロッドの三つに分解します。
2. Tボルトを緩めて脚部を開き、スタンドと床面が垂直になる位置でTボルトを締めて脚部を固定します。より脚を拡げるようにスライダを押し下げた位置で固定し、スタンド自体を少し手前に傾けて使う事も出来ます。
3. 下段パイプの中にある六角ナットにシンバルロッドをネジ込みます(図2)。演奏中に緩まないようにしっかりと締めてください。ハイハットを低めにセットされる方の為に、短いロッドが付属しています。お好みに合わせて使い分けてください。
4. 上段パイプを下段パイプに挿入し、好みの高さでTナット(A)を締めた後、メモリーロックの角頭ボルトもドラムキーで締めつけます。
5. ボトム側のハイハットシンバル(一般的に厚い方の一枚です)をシンバルボトムシートのフェルトの上に載せます。

各部の名称



トップシンバルの取り付け (クイックセット・ハイハットクラッチ)

クイックセット・ハイハットクラッチは、ストッパーのボタン操作でトップシンバルの素早い付け外しが可能にします。また、演奏中にナットが緩んでシンバルが落ちる心配がありません。

1. 図4のようにストッパーの赤いボタンをOFFの矢印の方向に押し、ストッパーとフェルトワッシャーを取り外します。
2. ハイハットのトップシンバルを、樹脂製の調整ナットとフェルトワッシャーの間に通します。
3. 図5のようにストッパーの下部を押しながら黒いボタンをスライドさせると、トップシンバルがハイハットクラッチに固定されます。
4. トップシンバルを付けたハイハットクラッチをシンバルロッドに通し、好みのシンバルの開き具合の位置でT-ナット(B)を締めて固定します。
5. 調整ナットでトップシンバルの締め具合を調整出来ます。好みの位置でロックナットを締めて固定します。演奏時にはポジションマークがスティックのチップの正面になるようにセットすると、より自然な揺れが得られます(図6)。

注意

※トップシンバルを調整ナットで強く締めすぎるとストッパーの取り外しが難しくなる事があります。
 ※保護チューブが摩耗した場合は、チューブ部分のみ(パーツ品番:SLC085)を交換する事が出来ます。シンバルを傷めない為に時々状態を確認してください。

スプリングテンションの調整 (図7)

テンション調整ダイヤルを回す事で6段階にスプリングテンションを調整出来ます。時計回りに回すとスプリングテンションが強くなり、シンバルの戻りが早くなり、踏み心地は重くなります。

スパイクの長さ調整 (デュオスパイク)

二本の脚の先端は、状況に応じてラバーとスパイクを選択出来ます。スパイクを出して使う場合は、角頭ボルト(a)をドラムキーで緩めてスパイクを出し、好みの長さで再度締め付けます(図8)。

注意

スパイクを使用される際は、床面を傷つけないようマットを敷いてください。

フットボード角度の調整 (図9)

二本の角頭ボルト(b)をドラムキーで緩め、背面カバーを上下にスライドさせる事でフットボードの角度を調整する事が出来ます。この時二本のボルトの位置が水平になっているか確認してください。

ボトムシート(スプリングシート)の調整 (図10)

スプリングシートは従来のボトムシンバルの角度調整部にスプリングを入れる事で、オープン時はボトムシンバルが傾き、クローズするにつれてシンバルが水平になる事によって、シンバルを閉じる時の二枚のシンバル間の空気をスムーズに抜き、より明確にフットクローズ音を引き出す機構です。調整ボルトを左向きに回すと、よりボトムシンバルを傾ける事が出来ます。好みの傾き具合が決まったらロックナットを左向きに回してロックしてください。

収納、運搬時 (Spare-the-rods Tension rod protector)

収納時は図11-1のようにボトムシート側からシンバルロッドを通し、図11-2のように、反対側のパイプにクラッチのストッパーを入れてTナット(B)を締めると、ロッドをパイプ内に固定する事が出来ます。運搬中にロッドが曲ってしまう事を防止します。(長いロッドの使用時のみとなります。)

